

第 69 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 2 月 26 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 COM 倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
3. 委員の出席 委員総数 6 名
- 出席委員 6 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、桑田政美
高谷和彦、神垣美代香、中川弘佳
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)
大平麻由美 (編成課長)
野間 耕平 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 公開生放送「箕面市成人祭 2018」
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

箕面市の成人祭は、箕面市の新人職員が研修の一環として、企画・運営を行っています。昨年の企画者が、「箕面市の成人祭のようすを、新成人たちだけでなく、市民のみなさんにも知ってほしい。タッキー816 で放送すれば、商店街などにも流れるし、良いのでは」と考え、相談がありました。公開放送を実施するには、諸々の費用が発生しますが、話し合いの結果、放送場所の確保、オペレーター料、式典の音声をラインで出力するという点を市で負担してもらい、公開放送が実現しました。

番組制作に当たり、タッキー816 では、新成人の声や、彼らを支えた大人の声を放送することで、20歳の歩みを広く市民に伝え、人生の特別な日をラジオを通じて市民のみなさんと祝うことを目的に企画しました。また、若者たちにもタッキー816の存在をアピールする機会と考えています。

ロビーには式典の音声も流れており、ラジオの音声とバッティングする環境です。来年以降、よりよい状況で放送できるよう、企画も含めて考えていきます。

(2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員 A：臨場感が伝わる放送。新成人の素の声が、聴く側の耳や心にすっと入ってきて。特にキッズシアターの卒業生、彼の思いや、幼い頃から箕面でキッズシアターと共に育ってきて、今度は自分が応援する側に回るという話もあり、すごく共感できました。また、市長自身も「成人式のときの市長の話なんて僕も覚えてなかった」と仰っていたので、市長の話を全部放送する必要もなかったかと思いました。少しでも新成人の声がもっと聴ければ良かったな、と。聴き入ってしまう話が多かったので、短く感じ、もっと聴きたいと思いました。

委員 B：私も同じで、キッズシアター卒業生が今消防士になっているというのを、興味深く聴きました。成人祭の雰囲気がよく伝わって、少しざわざわしましたが、しっかり声は届いていて聴きやすかったです。ただパーソナリティが、急ぎ過ぎというか、もう少し間を置きながら聴いてあげるゆとりがあれば良かったと感じました。相手が次のことを言うのをわかって、ちょっと間を持って、落ち着いて聴ければ。やはりもっと若い人のいろんなことを聞き出すというのは、成人祭を聴く側としては欲しいなと思いました。

委員 C：ライブ感があって、私自身も成人式に出たときのことを思い出しながら聴き入っていました。現場にいた人たちもすごくいい時間を過ごしたんだろうなというのがひしひしと伝わってきました。気になった点は、パーソナリティがいろんなゲストに質問するときに、投げかけたあとのゲストの回答に対してフォローが無いのが気になりました。フォローがあれば、答えた人が、次の質問に対しても安心して答えられると思いました。

委員 D：全体としては聴きやすい感じで進められているという印象でした。ただ、みなさんの言う通り、パーソナリティが早口で急いでいるようすというか、じっと聴いていられないなという浮わつた感じがして、残念でした。インタビューは、一人にあまり長い時間インタビューしても、同じことの繰り返しになってしまうので、もっと短いインタビューでたくさんの人の意見を聞いて、傾向みたいなものを知り得たら良かったなと感じました。

委員 E：市長の話はあれで全てですか？すごいシンプルで、イメージではもっと長い訓辞めいたものかと思っていたので、あれは良かったですね。その他、番組表は配布しましたか？タッキーの存在をアピールするには、ブースを出してるだけでは分かりにくいと思います。新成人に渡される袋に、番組表を入れておくというのも必要かと思います。選曲はどうしたのかな。ひとつひとつの曲に対して考えられたのでしょうか？

事務局：そうですね、今の若者が好んで聴いているような曲や、アニメで使われた曲なども選曲しました。

委員 E：質問は大体以上なんですが、ここからは注文です。市長が「保護者のかたにありがとうと言ってほしい」とお話ししていて、これを番組に結び付けて、「箕面市の〇〇です。お母さんへ・ありがとう」というような、新成人から親や先生へ発信する逆のメッセージという手立てが無かったのかな、と。成人式中継というのは、コミュニティ FM の重要な役割だと思うんです。卒園や入学など、市の大きな行事に中継に出かけていくなどはやらないといけないですけど、それだけでいつも終わっているような気がします。例えばその前と、本番の成人祭と、その後と、何か結び付けられないのかな、と。前だとしたら「あと一週間で成人式ですよ」というようなところから、20 年前に成人式を迎えたかたのインタビューが入るとか、そういうのが前にあって、本番があって、後では今度は「お母さん、ありがとう」という、成人になってからのメッセージが紹介されるというような、そういうつながりが全体の中にあると非常にいいという気がしたので、取り組んでみてはいかがでしょうか。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 30 年 2 月 26 日

箕面 FM まちそだて株式会社

番組審議会